



後悔からの脱却 興味が湧くことを見つけて

◇今回は、藤井絵夢さん（岐阜大学地域科学部卒、保険会社勤務）のレポートです！

はじめに

初めまして。私は、平成24年関高校卒業、社会人三年目の藤井絵夢です。この度は、私の関高校在学中から現在までの紹介をさせていただきます。残念ながら自慢できるような功績などが無いので、現在に至るまでの正直な気持ちを書きたいと思います。目標がない方や自信のない方に、特に読んでいただきたいと思います。

活躍しているかどうかは分かりませんが、踏ん張って生きている卒業生として、拙い文章ではありますが、少しでもお役に立てれば嬉しいです。

高校時代

私はあまり自分から進んで行動する方ではありませんでした。大学に行くのも、何か目的があって勉強していたというよりは、周りが行っているから行くものだと思っていました。ただ何となく文化に興味があって、何かそちらの分野について学べたらいいなあとぼんやり考えていました。どこか他人事で受験に100%向き合ったかと言われればいいえと答えるしかありません。今でも、受験を頑張ったと言い切れる人を羨ましく思うことがあります。一生懸命になれなかったのは、「大学生はこういう生活をしたかった」や、「こういう大人になりたい」などという将来の想像が欠けていたためでした。

大学時代

私が入学したのは、岐阜大学の地域科学部でした。正直納得して入学した訳ではありませんでしたが、高校時代の後悔を抱えながら大学時代を過ごすのは嫌だったので、大学ではやりたいことをやろう！と決めていました。そこで勝手に自分で決めたことが二つあります。



一つ目は邦楽部で三味線を弾くこと。二つ目はドイツに短期留学をすることです。三味線を弾きたいと思ったのは、普段関わることのない日本楽器に触れてみたかったということ、単純ですが先輩方の演奏の見学をしてカッコいいなと思ったからです。最初はバチを握ることもできませんでしたが、練習を続けてかなり上達したと思います。部活動として四年間続けることができました。短期留学は、ドイツのハイデルベルク大学に一月行きました（上写真）。将来旅行することはできても、住んでみてその場所に居る人たちの目線に立つことは

なかなかできないと思って挑戦しました。私の卒業論文のテーマも、『舞姫』などで知られる森鷗外のドイツ留学後の短編小説についてだったので、ドイツへの留学を決めました。外国はおろか飛行機に乗るのも初めてで不安でしたが、住んでみてドイツの人々の心の余裕と温かさを知りました。最初は少しの興味でしたが、この二つの経験から私の見える世界が変わったので、挑戦してみて本当に良かったと思います。

当時の地域科学部でよく言われていたのが、“think globally, act locally”（グローバルに物事を考え、地域的観点で活動する）ということでした。三味線という音楽の視点から日本の文化を見直し、ドイツ留学で一度その枠から外れてみて、普段当たり前に使っている「日本」を客観視して卒業論文に活かせるように思います。「やってみたい」という気持ちを行動にうつすことで、貴重な経験ができました。

就職から現在

現在は生命保険外交員として、営業の仕事をしています。この職業を選んだのにはいくつか理由がありますが、一番は働いている姿がかっこいいなと思ったからです。お客様の人生を左右するという責任、自分に与えられた目標はどうやっても他の人にはできないという責任があるので、大変ですがやりがいも感じています。今は自分のステップアップのため勉強したいことができたので、仕事をしながら資格の勉強をしています。入試の時よりも意欲的で、やる気があれば行動も変えられるのだなと自身でも驚いています。

私は大学入試に失敗して、後悔しない決断をしようと思い、やりたいことに挑戦しました。もしやりたいことがあるならば、それをしている自身を想像すると、自ずと目標ができます。それに向かって行動すれば、必ず後から結果はついてきますし、その積み重ねが自信につながります。行く大学が人生の全てを左右するわけではありませんが、精一杯頑張ったという経験は、その人の自信になることは間違いないと思います。

勉強は絶対にしなければならないことではなく、やりたい人だけがすればいいことです。勉強できる環境があることがラッキーだったなと思いますが、当時の私はそれに気づきませんでした。関高校の皆様や関高校を目指す方には後悔をしてほしくないなので、一度ご自身の興味が湧くことを探してみてください。人に聞いたり本屋に行ったり、インターネットなどで、知らない学問や職業や趣味など、様々なことについて情報収集してみてください。何かあなたの行動を変える物事に出会えると思います。卒業生として、ご自身で納得する進路を歩めるよう、願っています



岐阜大学邦楽部の活動

